

観光列車の新たな可能性



新しい観光列車「伊予灘ものがたり」の運行が、松山～伊予大洲～八幡浜間で開始されました。

この運行により、今までよりも多くの観光客が訪れることが見込まれます。

大洲市の魅力を、より多くの人に知ってもらうために、私たちに何ができるのでしょうか。

鉄道の開通から現在の状況

日本国内で初めて鉄道が開通したのは、明治5年（1872）新橋〜横浜間になります。開業後鉄道は大評判となり、大幅な利益を上げると、「鉄道はもうかる」との認識が広がり、各地で鉄道建設がはじまりました。

は大洲〜内子間を開業しました。

鉄道が開通した日の沿線では、老若男女を問わず列車を見物しようとする大勢の人だかりがで、なかには自転車で列車と競争する人もいて、大変な混雑だったようです。

愛媛県内でも、明治21年（1888）に伊予鉄道が松山〜三津間を開業したのをはじまりとして、その後、道後鉄道が明治28年（1895）に道後湯の町〜一番町、道後〜古町間で開業。南予鉄道が明治29年（1896）に藤原〜郡中間で開業。松山電気軌道が明治44年（1911）に江ノ口〜道後間で開業しました。南予では、宇和島鉄道が大正3年（1914）に宇和島〜近永間、大正12年（1923）に近永〜吉野間を延長開業しています。

県内各地で鉄道の開業が続くなか、明治43年（1910）に大洲でも鉄道を建設する動きが起り始めました。大正5年（1916）長浜で起工式を行った愛媛鉄道は、大正7年（1918）長浜〜大洲、大正9年（1920）に

愛媛鉄道の経営は開通当社から厳しく、昭和8年には国鉄に買収されます。その後国鉄は、昭和10年に伊予上灘〜大洲間を開通させ、昭和20年には、最後まで未開通であった八幡浜〜卯之町間を開通させました。これにより、高松から宇和島までが、1本のレールで結ばれることになりました。

鉄道の開通は、地元経済に大きな影響を与え、町の発展にも寄与してきました。しかし、自動車が多家庭に普及し、四国縦貫、横断自動車道の開通など道路交通網が整備されたことにより、鉄道を利用する人が減少して、今では存続が危ぶまれる状況になっています。そこで鉄道各社では、さまざまなイベント列車や新型車両を導入し、利用客の増加や確保を図っています。



昭和10年の伊予大洲駅



昭和9年の路線改修工事（五郎駅付近）



駅員による指差し確認

イベント列車あれこれ

四国で初めて登場したイベント列車は、昭和59年に国鉄初の貨車を改造しトロッコ列車とした「清流しまんと号」です。この列車は、昨年運転を終了しましたが、デザインをリニューアルして登場しました。一番目の写真が現在の「しまんトロッコ」です。

開放的な車内では、どの座席からでも景色を楽しむことができます。また、防寒・防雨対策として着脱式のシートが設置されているので、寒い日や雨の日でも利用することができます。



平成12年、登場するやいなや、子どもたちからの人気を獲得したのが、二番目の写真のアンパンマン列車です。数回のリニューアルをしたアンパンマン列車の車内では、オルゴールの「アンパンマンのマーチ」が流れたり、アンパンマンシートが設置されていたりと、子どもが見ても乗っても楽しめる列車になっています。

今年J R予土線の全線開通40周年、宇和島〜近永開通100周年記念で登場したのが、三番目の写真の「鉄道ホビートレイン」です。



外観は、初代新幹線(ゼロケイ)（0系）をデザインしたもので、1月に運行が開始されました。日本一遅い新幹線として各テレビ局や新聞、雑誌で取り上げられたことで、全国の鉄道ファンが押し寄せています。

車内には記念撮影用の新幹線転換シートが配置され、鉄道模型を展示したショーケースも設置してあります。

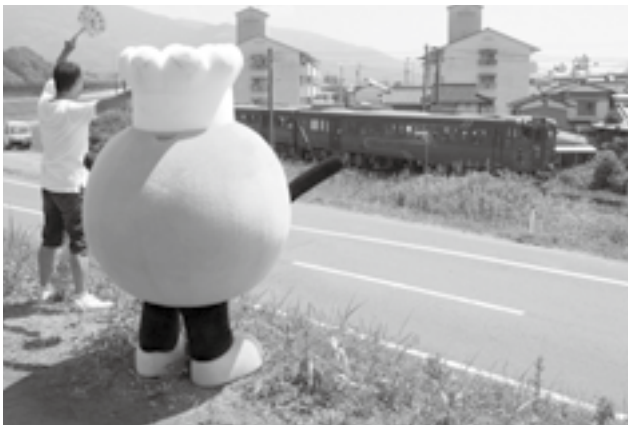
一番下の写真は、毎年夏の風物詩として定着し、多くの利用客か



ら好評を得ている「夕焼けビールトロッコ列車」です。伊予灘に沈む夕日を眺めながら、爽やかな潮風を全身に受け、よく冷えた生ビールなどを存分に味わうことができます。

このほかにも、「ゆうゆうアンパンマンカー」や「アンパンマントロッコ」「大歩危妖怪トロッコ」「アイランドエクस्प्रेस四国II」など、四国内ではさまざまなイベント列車が活躍しています。そのなかでも、最新の観光列車が「伊予灘ものがたり」です。





観光列車「伊予灘ものがたり」運行開始

7月26日(土)から、観光列車「伊予灘ものがたり」が運行を開始しました。運行初日となるこの日は、沿線では多くの人が新しい観光列車の通過にあわせて、それぞれの場所で手を振って歓迎をしました。

伊予長浜駅からは、大洲藩鉄砲隊のメンバーが乗り込み大洲市の紹介と、大洲城復元10周年事業のPR活動を行いました。伊予大洲駅ホームでは、大洲高校コーラス部の生徒たちが歌で出迎え、駅舎前では、大洲臥龍太鼓保存会による迫力ある演奏が披露されました。

この列車は、伊予灘に沈む夕日をモチーフにしたあかね色の1号車「茜の章」と、特産品のかんきつをモチーフにしたオレンジ色の2号車「黄金の章」の2両編成定員50人で運行しています。車内は、レトロモダンをコンセプトに、ボックス席や畳席、海側を向いた展望シートが配置されています。洗面所の手洗い鉢と食器には砥部焼を使用し、一部のテーブルに県産ヒノキが使われています。また、地元食材を使った料理を、予約をすれば味わうことができます。



観光に活かす

今回の「伊予灘ものがたり」運行開始により、観光客が今までよりも増加すると思われまます。

市には、今年復元10周年を迎える大洲城天守閣や臥龍山荘、おおよそ赤煉瓦館、ポコペン横丁、思ひ出倉庫など、多くの観光施設があります。駅からこれらの観光施設までの道のりを多くの観光客に楽しんで歩いてもらうために、市では松山〜伊予大洲の「伊予灘ものがたり（大洲編）」の利用者に、クーポン付散策マップを配付しています。クーポンを利用して市内を観光し、再び大洲を訪れてもらえるようにしたいと考えています。

新しい観光列車の運行は、ひとつのきっかけです。そして、大きなチャンスでもあります。このチャンスを逃さないように市の発展につなげていきましょう。

そのためにも、一人ひとりが観光大使になったつもりで観光客を温かく迎え、おもてなしすることで、大洲の良さや魅力を分かってもらえることが大切です。

正三位大洲市名誉市民故西田 司まもる氏の 在りし日をしのんで

大洲市名誉市民故西田司氏の市葬が7月12日(土)、大洲市民会館大ホールでしめやかに営まれました。市葬には、県知事をはじめ、県選出国會議員、県議會議員、総務省関係者、県内各市町長・市町議會議長、市議會議員、企業・団体の代表者、市民など約650人が参列し、故人との別れを惜しみました。

参列者全員で黙禱をささげた後、葬儀委員長の水市市長が「郷土を愛し、地方を愛し、そして国を愛し、その一生をささげられた先生のご遺志は、永久に消えることなく私たちの胸中に生き続けることでしょう」と式辞を述べました。



続いて、中村時広ときひろ県知事、山本公一こういち衆議院議員、葬儀副委員長の向井敏憲としのり市議會議長が弔辞を述べられました。また、故人の人物や功績などを紹介する映像が流され、故人の在りし日をしのびました。遺族を代表して西田洋一ひろかずみさんが「父の人生は、行政や政治という世界で自らの生きる姿を描き続けていました。約40年間の現職の間、みなさんに多くのご指導やご支援をいただいたおかげで、充実した人生を送ることができたのではないかと思います」と謝辞を述べられました。



最後に参列者全員で献花を行い、故人のご冥福をお祈りしました。

平成26年度優良工事表彰

平成26年度優良工事表彰式が7月29日(火)市役所で行われました。この表彰は、市が発注する建設工事において特に優良な工事を表彰することにより、建設業者の意欲の向上および技術者の育成を図り、公共工事の品質の確保を目的に昨年度創設した新しい制度です。

第1回目の表彰で清水市長は「今回表彰の5件は、優れた施工技術と綿密な施工管理により完成された他の模範となる工事である。優秀な工事が素晴らしいまちづくりにつながり、安心・安全なまちの土台をつくることになる」と述べました。

受賞者を代表して上田建設株式会社大野彰一しょういち代表取締役は「今回の受賞は、建設産業に携わる者としてこのうえない喜びである。これからも品質管理・安

全管理はもとより、創意工夫やコスト縮減、環境対策へ積極的に取り組み、技術の伝承と研さんに努めたい」と受賞の喜びとともに決意を語られました。

平成26年度優良工事表彰一覧

工事名	施工者
市道奥滝山師走野線道路改良工事	上田建設株式会社
市道内山線舗装工事	株式会社西田興産
大洲東中学校屋内運動場改築工事の内電気設備工事	有限会社丸電工業
作業道七本木線開設工事	三嶋建設有限会社
市道康申堂藤野原線道路改良工事	三瀬建設株式会社





世界にひとつだけの自動販売機設置

しらたきの里

フリースタイル・フットボール世界一に輝いた、白滝出身のレックダブル・アスリート徳田耕太郎さんデザインによるエナジードリンクの自動販売機が、7月18日(金)にしらたきの里に設置されました。

徳田さんは中学・高校生の時に、しらたきの里・岡崎秋善会長の了解を得て、日が暮れた後も自動販売機のわずかな光で毎日練習を積み、技術を磨きました。

設置された自動販売機に直筆で設置日を書き入れた徳田さんは、



「僕の原点はこの場所。地元のみなさんには本当に感謝している。これを見て、みなさんが何かを指すきっかけになれば嬉しい。僕自身も、フリースタイル・フットボールの普及に力を入れながら、また世界に挑戦したい」と、地元への感謝と今後の抱負を語りました。

そして最後に、集まった地元のみなさんが見守るなか、昔を懐かしむようにボールを自在に操り、世界一の技を披露しました。

第14回 大洲扇面の美展 ～山荘画廊～

7月27日(日)、第14回大洲扇面の美展表彰式が、山荘画廊で開催されました。大洲市内外より多数の作品が寄せられ、会場には個性豊かな作品が展示されました。

入賞したみなさんは次のとおりです。(敬省略)

会員優賞

鴨川の部

- ▽最優秀賞
- ▽優秀賞
- ▽大洲市長賞
- ▽大洲商工会議所会頭賞
- ▽特選
- ▽特別賞
- ▽佳作



鴨川の部 最優秀作品

稲垣 章 橋本 千恵子

山中 智
 増田 ツヤ子
 久米 傑
 白石 美子
 澤山 繁子
 中原 瞳
 久保田 トシコ
 中井 順子
 赤瀬 エル子
 上野 仁美子
 上甲 幼子
 杉本 美和
 岩本 政光
 白石 礼子

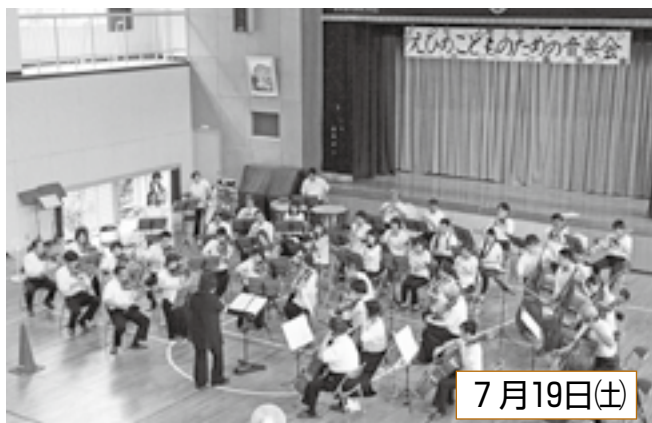
夏扇の部

- ▽最優秀賞
- ▽優秀賞
- ▽大洲市長賞
- ▽大洲商工会議所会頭賞
- ▽特選
- ▽山荘画廊賞
- ▽佳作



夏扇の部 最優秀作品

酒井 政
 富永 陽子
 垣内 津也子
 高岡 鶴子
 三瀬 瑛子
 松山 隆美
 浜田 弘美
 大澤 キクエ
 田中 子セ子
 井関 裕美
 西岡 山下
 井上 美佳
 上 美ほ



7月19日(土)

愛媛交響楽団がやってきた ～えひめこどものための音楽会～

えひめこどものための音楽会移動公演が、上須戒小学校体育館で開催されました。楽曲の演奏、楽器の紹介、校歌の演奏がありました。校歌を聴いて、涙を流されている参加者もいました。

地元小学生をはじめ約150人の参加者は、普段あまり聴くことのできない、オーケストラの迫力ある生演奏に最後まで聴き入っていました。



7月18日(金)

子どもたちの歓声で夏本番 ～長浜海水浴場海開き～

長浜海水浴場で海開きが行われ、市や観光協会長浜支部などの関係者22人が、期間中の無事故を祈願しました。

その後、招待された長浜保育所の児童22人が、少し冷たい海に元気よく駆け足で入りました。歓声を上げながら友達と水をかけあったり泳いだりと、夏本番を迎えてとてもうれしそうでした。



7月26日(土)

夏の夜のにぎわい

～2014年道の駅「清流の里ひじかわ」夜市～

夏のイベントとして定着した、道の駅「清流の里ひじかわ」の夜市が開催され、猛暑日にもかかわらず、会場には大勢の人が訪れました。

来場者は、ゲームコーナーやステージ発表などで大いに盛り上がりました。特にお楽しみ抽選会では、当選番号が発表されるたびに大きな歓声が起こっていました。



7月19日(土)

「弾込め」「火縄付け」「構え」「放て」

～火縄銃演武稽古～

大洲城復元10周年記念式典に向けて、公募により結成された「大洲藩鉄砲隊」による火縄銃演武稽古が行われました。

この日は「丸亀城鉄砲隊」を指導者として招き、正しい姿勢や銃の扱い方などの稽古をつけてもらいました。5人の隊員は、真剣な表情で動作確認をした後、本番さながらの空砲発射を行いました。



8月2日(土)・3日(日)

野球を通じて国際交流

～第24回世界少年野球大会 愛媛大会～

野球を世界に普及、発展させ、子どもたちの友情と親善の輪を広げることを目的に、王貞治さんとハンク・アーロンさん提唱の「世界少年野球大会」が、7月30日(水)から8月7日(木)まで県内で開催されました。

大洲市からは、大洲ジュニアタイガースと大洲樹新谷RED SOXの2チームが、大洲球場において大韓民国と中華台北のチームと交流試合を行いました。



7月27日(日)

鉄人たちの熱い戦い

～第20回ジュニアトライアスロン大会～

今年で20回目を迎えるジュニアトライアスロン大会が、緑地公園で開催されました。

スタート直前になって大粒の雨が降りはじめ、昨年に続いて雨の大会となりました。

ぬれた路面で転倒する選手もいましたが、市内外から参加した116人の選手たちは、最後まで全力を出して白熱したレースを展開しました。



8月5日(火)

感謝状を贈呈

～水難事故人命救助～

大洲地区消防において、市水道課瀧野逸武さんに感謝状が贈呈されました。

瀧野さんは、7月30日(水)午後2時ごろ富士橋上流で発生した小学生2人の水難事故で、溺れていた6歳男児を救助し、心配蘇生を実施しました。この処置により男児は現場で呼吸と意識が回復し、尊い命が救われました。



8月1日(金)

梨でカンパ～イ

～上須戒観光梨園オープン～

今年で観光事業27年目を迎える、上須戒地区一の瀬団地で、観光梨園の開園式が行われました。

開園式には、上須戒小学校の児童11人と上須戒保育所の児童9人が招待され、一足先おいしい梨を堪能しました。

大洲の観光梨狩りは、10月中旬まで楽しむことができます。

防災シリーズ No. 2

地震に備えて

愛媛県では、南海トラフ巨大地震発生に伴う被害想定を、平成25年6月に発表しました。その被害想定によると、大洲市の一部では最大で震度7の揺れが発生すると予想されています。

大きな地震から身を守るためには、その場所に応じた行動をとることが重要です。まずは、命を守ることを第一に考え、地震に備えましょう。

【住宅街】



倒壊の危険性があるブロック塀や石壁、門柱から離れる。瓦の落下に注意する。

【海岸・崖付近】



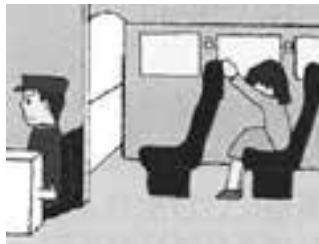
海岸では高台へ避難し、津波情報をよく聞く。崖付近にいる場合は、速やかに離れる。

【車の運転中】



ハザードランプを点滅させ、道路左側に停車しエンジンを切る。車から離れる時は、窓を閉め、キーをつけたままで、ドアロックはしない。

【バスや電車に乗っている時】



座っている場合は、前の座席の背もたれをつかむ。立っている場合は、つり皮や肘掛けをしっかり握る。

緊急地震速報をご存知ですか

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定された地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域名を、揺れが来る前にお知らせする情報です。



テレビやラジオ、防災行政無線の緊急地震速報を聞いたら、周囲の状況に応じて、慌てずに、まず身の安全を確保しましょう。

文化財

ばんけいこくし ぼくせき
盤珪国師墨跡 15幅
大洲市有形文化財（書跡）
如法寺所蔵（大洲市立博物館保管）



墨跡とは、臨済宗を主とする禅僧の書を総称して呼ばれるものです。

本墨跡は、如法寺に伝わる盤珪永琢の筆によるもので、仏や菩薩の名前を記した「名号」、禅僧が悟の心境を五言または七言で表現する「偈」などがあります。なかでも、大小の円弧を内外に重なり合うよう描かれた円相（図形の丸を一筆で書いたもの）は、ほかに類を見ない独特の手法で描かれていて、盤珪の思想を表したものとされています。

15点ある本墨跡は、盤珪の若年期から最晩年期まで作成年代がそろっているほか、細字、大字、楷書、草書といった字体も多種に及んでいることから、盤珪の書風や思想について知るうえで貴重なものと言えます。

これらの墨跡は 現在大洲市立博物館で開催中の特別展「如法寺展」で一部ご覧いただけます。

（昭和40年1月1日指定）

野鳥

セグロセキレイ（背黒鶴鴿）
スズメ目 セキレイ科
大きさ21cm



河原や運動場などで、「ジュッ、ジュッ」と鳴きながら飛び回っている、白黒まだら模様の小鳥に出会うことがあります。

ユーラシア大陸に多くいるハクセキレイによく似ていますが、本種は日本の固有の鳥で、外国のバードウォッチャーにとって憧れの的のようです。

人の生活圏で営巣することもあり、トラックのシャーシーやエンジンルームでひなを育てるなど、微笑ましい記事が紹介されることがあります。

人間の生活に溶け込むことで、カラスやヘビなどの外敵からひなを守り育てるけなげな姿は、人間も見習いたいものです。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

シリーズ・大洲市地域づくり表彰

平成25年度「大洲市地域づくり表彰」を受賞されたみなさん（4個人、1団体）を、シリーズでご紹介します。



現在約80人の会員で、市内はもとより、全国の山や島など多くの自然が残っている場所に行き、木や草などの観察をしています。また、市立博物館主催の「大洲自然科学教室」にも協力していて、市内の小学校5・6年生を対象に植物や海辺の生き物、岩石



農林地保全・青少年育成に貢献

土居 泰正さん
(五郎)



地質の観察、天体観測、バードウォッチングなど自然の総合学習を実施しています。自然科学教室がきっかけとなって、大洲の自然に興味を持つ子どもがひとりでも多く育ってほしいと願っています。「木を愛する会」の課題は、会員の高齢化や減少傾向にあることです。若い会員のためにも、自分が動くことで周りの人を楽にさせる「傍楽」をモットーに、これからも元気に活動を続けていきたいと思っています。

【土居さんからのメッセージ】
私が「木を愛する会」の会員になって、今年で約50年になります。「木を愛する会」は、昭和32年に「植木秀幹博士を囲む会」から改名して発足しました。

「木を愛する会」の課題は、会員の高齢化や減少傾向にあることです。若い会員のためにも、自分が動くことで周りの人を楽にさせる「傍楽」をモットーに、これからも元気に活動を続けていきたいと思っています。

手軽で簡単なレシピ集 Vol.3

〈鶏手羽のさっぱり煮〉



(材料2人分)

鶏手羽 4本
ピーマン 30g
人参 30g
玉ねぎ 30g
サラダ油 適量

水 100ml
鶏がらスープの素(顆粒) 小さじ2分の1
酢 大さじ1と2分の1
ケチャップ 大さじ1と2分の1
砂糖 大さじ1
しょうゆ 小さじ1

作り方

- ① 鶏手羽は、火が通りやすいようにフォークなどで穴をあける。
- ② ピーマン、人参、玉ねぎ、一口大の乱切りにする。
- ③ フライパンでサラダ油を熱し、鶏手羽肉の表面にこんがり焼きをつける。
- ④ ③にAを加えてふたをし、10分程度煮る。
- ⑤ ④に②を加え、ふたをせずに煮汁がなくなるまで約5分煮る。



—お酢の効果—

料理の油っぽさを和らげたり、魚の臭みをとってくれます。また、硬い肉を軟らかくしたり、野菜のえぐみや苦みなどの、あくをとってくれます。

さらに、疲労回復や食欲増進の効果もあります。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

大洲藩主加藤家の文化財（第四幕）

加藤泰恒（かとうやすつね）



大洲藩3代藩主加藤泰恒は、明暦3年（1657）加藤泰義（2代藩主泰興の嫡男）の嫡男として江戸に生まれました。

延宝2年（1674）、祖父泰興が隠居すると、父泰義が亡くなっていったことから、18歳で祖父から家督を相続しました。

藩主となった泰恒は、天和元年（1681）これまで土地（知行）で支給していた家臣の給与方法を、米豆（蔵米）で支給する方法へと変更し、領地支配における藩主権力の集中化を図るほか、天和3年（1683）には、領民に対して心得箇条を公布するなど領内統治の基盤を整えました。

また、藩主在任中は、幕府より天皇の使者を接待する勅使饗応役を6度命じられています。元禄9年（1696）に務めた日光参向門跡馳走役の際には、忠臣蔵で有名な吉良上野介からいじめを受

けたと言われています。そのため、元禄11年（1698）、親交のあった赤穂藩主浅野内匠頭が饗応役を務めることになった際、役目が終わるまでは耐えるように諭したという逸話が残されています。

また、幕府御用絵師狩野常信に絵画を学んだ泰恒は、絵の才能も高く、その腕前は宮中まで聞こえ、宝永2年（1705）、和歌の師で親交のあった大納言清水谷実業を通じて、三幅対の「富士に鷹図」を献上したと伝えられています。

正徳5年（1715）、泰恒は痢疾（消化不良や消化機能の低下を背景とした下痢）を病んで江戸において59歳で没しました。遺骸は江戸から大洲へ送られ、如法寺に葬られました。泰恒の墓所には、祖父泰興と同様に亀扶が息子泰統によって建てられ、その功績をたたえています。



大洲商工会青年部 大洲ご当地クイズ

毎年8月下旬には、いもたき初煮会が開催されています。

商工会青年部では、大洲ええもんセレクション、0級グルメなどの販売をするために初煮会で出店をしています。大洲の美味しい食べ物は、来場したみなさんにとっても好評です。また、販売を通して大洲をPRすることもできています。

このようなイベントは、大洲のことや青年部の活動を知ってもらえるいい機会です。これからも積極的に、市内の各種イベントに参加をしたいと思います。

【今月のクイズ】

大洲市ならではの、変わった駅伝大会があります。その駅伝大会とはどれでしょうか。

- ① いもたき早食い駅伝
- ② カヌーツーリング駅伝大会
- ③ 四国八十八ヶ所自転車駅伝
- ④ 大洲うかい船駅伝



【先月号のクイズの解答・解説】

大洲肱川のうかいは、日本三大うかいの一つです。日本三大うかいに選ばれている理由は何でしょうか。

- ① 歴史が長い
- ② 鵜が多い
- ③ うかいを見る屋形船が多い
- ④ 観光客が多い

解答 「③うかいを見る屋形船が多い」

解説 現在は、37艘の鵜船の登録がありますが、最盛期には60艘もの登録があったそうです。

肱川うかいの最大の特徴は、うかいコースが長い事、そして鵜匠の見事な手綱さばきと、鵜が鮎をとる様子が間近で見られる事です。



※今月のクイズの答えは、広報大洲10月号に掲載します。